

## 「みみをすますように 酒井駒子」展 プレスリリース



ひそやかな  
絵とことばを  
めぐる

『BとIとRとD』原画（白泉社、2009年）

### 展覧会紹介

『よるくま』『金曜日の砂糖ちゃん』（いずれも偕成社）などで知られる絵本作家・酒井駒子は、静謐さをたたえた美しい絵と詩的な文との響き合いにより、これまでも多くの人々を魅了してきました。ブラティスラヴァ世界絵本原画展での金牌受賞、オランダでの「銀の石筆賞」受賞など、海外でも高い評価を得ています。

本展は、酒井駒子初となる本格的な個展です。これまでに刊行された20冊を超す絵本を中心に、約250点の原画を厳選。原画は、画用紙や段ボールに黒い絵具を下塗りした上に色が配され、少女や動物たちがひそやかに描かれています。

会場では「ある日」「ひみつ」「こみち」などの6つのエリアを分け、特製の額やケースに収められた原画と、物語や文の断片をめぐるしていきます。また、酒井が制作を行う山のアトリエ周辺の映像や音、小さなおもちゃやオブジェを配します。

散歩するように、ゆっくりと歩きながら、時に立ち止まりながら。耳をすますように絵とことばに出会う、新しい体験を提供する展覧会です。

**お問い合わせ** 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居4-1

○ホームページ：<https://www.yokosuka-moa.jp> e-mail:kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp

○取材・画像提供に関すること 広報係：小川、八島、江山 電話 046-845-1211

○展示内容に関すること 担当学芸員：中村、日野原 電話 046-845-1212

## 酒井駒子プロフィール

1966 年生まれ、絵本作家。絵本に『よるくま』『はんなちゃんがめをさましたら』（いずれも偕成社）『ロンパーちゃんとふうせん』（白泉社）など、画文集に『森のノート』（筑摩書房）。『きつねのかみさま』（作・あまんきみこ、ポプラ社）で日本絵本賞、『金曜日の砂糖ちゃん』（偕成社）でブラティスラヴァ世界絵本原画展金牌賞、『ぼく おかあさんのこと…』（文溪堂）でピチュー賞（フランス）・銀の石筆賞（オランダ）、『くまとやまねこ』（作・湯本香樹実、河出書房新社）で 講談社出版文化賞絵本賞を受賞。『ゆきが やんだら』（学研プラス）はニューヨーク・タイムズの「2009 年の子供の絵本最良の 10 冊」にも選ばれた。



『まばたき』原画（岩崎書店、2014 年）

## 展覧会情報

- 1 会場 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居 4 - 1  
電話 046-845-1211 (代)  
ホームページ：<https://www.yokosuka-moa.jp>  
e-mail：kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp
- 2 会期 2021 年 7 月 10 日（土）～9 月 5 日（日）10：00～18：00  
休館日：8 月 2 日（月）
- 3 観覧料 一般 1100（880）円、高大・65 歳以上 900（720）円、中学生以下無料  
\*（ ）内は 20 名以上の団体料金  
\*高校生（市内在住または在学に限る）は無料  
\*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方 1 名様は無料
- 4 その他 主催＝横須賀美術館  
企画協力＝ブルーシーブ

## 約 250 点の原画

●デビューから最新作まで、絵と文を手掛けた絵本、挿絵を手掛けた絵本や書籍計 25 冊から約 250 点の原画を、「ある日」「ひみつ」「こみち」「はらっぱ」「こども」「くらやみ」の 6 つのテーマに沿ってご紹介していきます。



上段左から『よるくま』原画（偕成社、1999 年）、『ゆきがやんだら』原画（学研プラス、2005 年）、『くまとやまねこ』原画（河出書房新社、2008 年）、下段左から『金曜日の砂糖ちゃん』原画（偕成社、2003 年）、『金曜日の砂糖ちゃん』原画（偕成社、2003 年）、『ピロードのうさぎ』原画（ブロンズ新社、2007 年）

●酒井のトレードマークとも言える黒色で下塗りした上に描く画風は、『ぼく おかあさんのこと…』（文溪堂）から定着しました。黒い下塗りの粗さと、そのなかに宿る細やかさ、そしてそのあまりの美しさに、誰もが目を奪われることでしょう。



左から『ぼく おかあさんのこと…』原画（文溪堂、2000 年）、『くまとやまねこ』原画（河出書房新社、2008 年）

●『BとIとRとD』（白泉社）や、『森のノート』（筑摩書房）にも見られるように、段ボールやボール紙を支持体にしたリ、コラージュの技法を用いた作品もあります。本展では、印刷では再現の難しい色彩や、子どもと動物たちの繊細な表情など、原画ならではの魅力を間近で存分にご覧になれます。



左から『BとIとRとD』原画（白泉社、2009年）、『森のノート』原画（筑摩書房、2017年）

### ユニークな展示空間

京都在住のフランス人建築家・2m26 が制作した杉材の額やケースを用いたユニークな展示空間がみなさんを出迎えます。そこでは、酒井駒子が制作を行う山のアトリエ周辺の映像や音、酒井が所有する小さなオブジェなども配し、絵とことばと併せて、制作背景も垣間見える展示となります。



「みみをすますように 酒井駒子」展 PLAY!MUSEUM 会場風景（撮影：吉次史成）

### 映像によって酒井駒子の作品世界を紹介

映像作家・岡本香音が制作した3本の短い映像を上映します。まず、「森」の気配を感じさせる映像は、『森のノート』（筑摩書房）などに描かれている、酒井駒子が見ているであろう風景です。2つめは、絵本『ゆきが やんだら』（学研プラス）の原画を大きく伸ばし、ゆっくりと見せる映像です。そして3つめは、新聞連載小説『七夜物語』（朝日新聞出版）のたくさんの挿絵原画を映し出す映像です。独特の手触りやにおいを感じさせる酒井さんの作品世界を改めて見つめ直す映像ができあがりました。

# 「みみをすますように 酒井駒子」展

2021年7月10日(土) - 9月5日(日) 横須賀美術館

掲載図版/チケットプレゼント申込書

**FAX : 046-845-1215 横須賀美術館行き**

本展覧会の掲載図版ならびにチケットプレゼント用招待券(ペア10組分/20枚)をご希望の方、下記へご記入の上 FAXにてご請求ください。必要な図版にしてください。



『まばたき』原画(岩崎書店、2014年)



『よるくま』原画(偕成社、1999年)



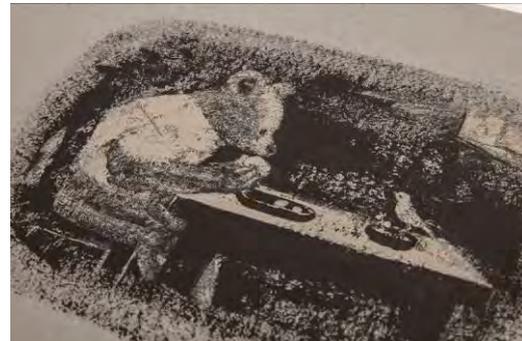
『BとIとRとD』原画  
(白泉社、2009年)



『ゆきがやんだら』原画  
(学研プラス、2005年)



『金曜日の砂糖ちゃん』原画  
(偕成社、2003年)



『くまとやまねこ』原画(河出書房新社、2008年)

必ずご記入ください⇒ 貴社名 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

貴誌(紙)名 \_\_\_\_\_ ご担当者様お名前 \_\_\_\_\_

メールアドレス(画像データ送付先) \_\_\_\_\_

ご要望事項(サイズ・解像度など) \_\_\_\_\_

チケットプレゼント用招待券  希望する  希望しない

※チケットを20枚以上希望される方は、必要な枚数をお書き添えください。

ご住所(チケット送付先) \_\_\_\_\_